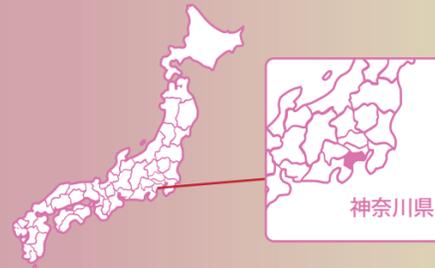




# 消防庁 長官賞

## ぼうさい げんさい 防災減災パワーズブックの

## はっこう ふきゅう 発行・普及



▶設立年  
平成 8年 5月

▶団体構成  
36名

▶所在地  
〒254-8686  
神奈川県平塚市浅間町9-1平塚市役所  
災害対策課

▶連絡先  
TEL 0463-21-9734  
FAX 0463-21-1525  
Eメール saigai@city.hiratsuka.kanagawa.jp

▶取組開始年月  
平成 8年 5月～

### じょせいぼうさい ひらつか 女性防災クラブ平塚パワーズ

#### 【団体概要】

阪神・淡路大震災を機に平塚市が女性防災講習会を開き、受講した30名の女性が「地域防災力は女性パワーでアップ!」を合言葉に女性目線の防災知識・技術の考案と普及を目的に結成された団体である。

その活動は市内に留まらず、県内外の防災訓練やイベントに講師として招かれ、様々な防災啓発を行っている。

また、JICAの依頼を受け、諸外国の方々に向けた防災講座の講師も務めている。

アイデアを駆使した実用的な防災啓発として、身近なものを使った防災グッズや非常食づくり、パンダナやタオルを使った応急手当、生活に役立つロープワーク、風水害時の警戒レベルに合わせた避難時の服装と避難方法の演劇型展示、子供向けの防災ゲーム等を数多く行っている。

指導者育成にも力を入れるとともに、他市町の防災団体立ち上げや防災啓発冊子作成のサポート等も行っている。

#### 【背景】

阪神・淡路大震災を契機として、平成8年に結成して以来、女性の視点を活かし、アイデアを駆使した実用的な防災啓発を続けてきた。

しかし、訓練で指導できる人数には限りがあることや、多様化する社会で障害のある方や日本語を苦手とする外国籍の方への啓発に課題を抱えていた。

また、これまで蓄積した防災啓発のノウハウを次の世代に引き継ぐ手段を探していた。

#### 【取組の内容】

これまで行ってきた防災啓発活動の集大成として、防災アイテムづくりや応急手当の詳しい方法を掲載した「防災減災パワーズブック」を発行した。

また、視覚障害者の方々に向けて、パワーズブックの点字本と音訳CDを、外国籍の方々に向けて、英語版で作成した。

それを、平塚市へ通常版約200冊、点字本・音訳CD50セット、英語版500冊寄贈し、神奈川県へ通常版と英語版をそれぞれ1,000冊ずつ寄贈した。

「防災減災パワーズブック」は、発災前の日頃の備え、発災後7日間を生き延びるために役立つ「知恵と技」、防災ガイドなどについて、誰でも分かりやすい言葉でイラストを添えて掲載している。

平時からこれを読んでおくことで、防災・減災を特別なことと思わず、各家庭が毎日の生活の中で災害に強い我が家を築くことができ、防災・減災に繋がるものとなる。

#### 【成果】

これまでは、直接指導を行うことでしか防災啓発を図ることができなかったが、冊子を発行したことにより、出向くことが難しい遠方の人にも啓発が可能になった。さらに、視覚障害がある方のために点字本と音訳CDを、外国籍の方のために英語版を発行し、障害や言葉の壁も取り払い、普及啓発活動を行うことができた。

また、誰でも冊子を基に防災訓練の指導をすることが可能となり、普及啓発の輪が大きく広がり、新しい会員への知識・技術の引き継ぎにも大いに役立っている。特に、東日本大震災と熊本地震の際には、パワーズの活動が役に立った。

東日本大震災の際には、発災の5日前に東北大学で開催されたイベント「救護の達人」で講演するとともに展示をしており、「パワーズ段ボールトイレ」は特に好評で、人だかりができるほどであった。震災後は、支援のため仙台市に作成方法を送付し、「非常に役に立った」という感謝のメッセージを受け取った。

また、熊本地震の際には、神奈川新聞社が「パワーズ段ボールトイレ」の動画をインターネット上に公開し、19万回を超えるアクセスがあった。

現在はブログによる情報発信にも力を入れている。

パワーズブック点字本・音訳CDの寄贈式（平塚市）



感染予防着の作成訓練



JICA（国際協力機構）の防災訓練



避難時の服装展示（風水害編）



#### 選定委員 Comment

平塚パワーズは、平塚市民、自治会（自主防災組織）、小・中学校、幼稚園、保育園、市外団体等のさまざまな組織・団体等に対する啓発研修・訓練を行っているボランティア団体である。近年の啓発等対象者数は5,000人を超えており、2019年度は約70回、6,000人に及んでいる。

平塚パワーズが引く手あまたの理由は、研修依頼者との丁寧な打合せをもとに要望を書面にして共有し、かつその要望を高いレベルで実現してきたからである。これは平塚パワーズが大切にしてきた方法であり気風でもある。

2017年には長年の実践から得られた防災啓発活動のノウハウを集大成した「防災減災パワーズブック」を刊行した。その内容は、従来から評判の高い「段ボールトイレの作り方」など現場のニーズに即したものであり、これに加え、啓発活動で培ったわかりやすい表現と豊富なイラストが「防災本」の固さを忘れさせる。そのため、パワーズブックは多方面から高い評価を得ている。

それに止まらず、パワーズブックは平塚パワーズの活動にさらなる広がりや深みをもたらしつつある。例えば、視覚障害者関係団体からの要望を受けパワーズブックをベースに点字版を作成したが、さらには高齢で失明し点字に不慣れな人向け用に音訳版のCDも用意した。

また、平塚市に居住する多数の外国人向けパワーズブックは、英語と日本語の併記、ピクトグラムの使用、緊急時の言葉（「助けて」、「避難して」等）の英語・日本語・日本語読み表記などにより、冊子を指さしながら日本人と外国人とがコミュニケーションを取れる工夫がされている。

広く情報発信するため2014年に開設した平塚パワーズのブログには2020年12月末で126本もの記事が掲載されており、このブログを介しての研修依頼も増えている。さらに今後はWEB方式の研修にも挑戦したいとのこと。実に進取の精神に富んでいる。名前のとおりパワー溢れる女性団体であり、今後のさらなる飛躍が期待される。